

「平成三十年記念 福岡県武道大会」 開催の趣意書

今年、明治維新一五〇年を迎える年で有り、更には天皇陛下の御退位により平成の年号も残り僅かとなりました
終わりを迎えつつ有る、平成の時代の最後に「福岡県武道大会」を開催出来ないかと思っております。

武士の時代が終わり開かれた世として、明治・大正・昭和・平成と受け継がれてきた時代の中で、天災や人災等あらゆる不幸が日本や世界を襲い、戦争は愚かな事と判っているにも関わらず、世界各地で現在も絶え間なく続いております。

色々な苦難が有る中で、それでも揺るぎなく日本人の心を支えているのは、皆様ご周知の通り、日本独自の文化で有る武士道精神では無いでしょうか

事が起きた時の日本人の態度や行動は、高い評価を頂いていますそれは日本人として根底を成すもので、永い間培われている「道徳心・恥を知る心・自分を律する心」だと思っております

日本人の心を支えるのは、古来より伝承されている武士道で有り、武道であると考えております

勿論、現代において平和を目的とする武道は、己の邪心を制する為に、己を鍛える事を目的としております 決して人を傷つける為のものではありません。

近代は、目や耳を覆いたくなる惨事や、己の居場所を見つけられない等、心の闇に縛られての事件も多々有っております

壊れていきそうな日本人の心を取り戻す為に、今一度、原点に立ち返り、我が身と心を見つめ、鍛え直さなければ成らないと考えるところです。その中で最も大切な事は、青少年の心と体の育成が第一だと思っております

社会に対し何らかのお役に立つ為にも、武道に関わっている者はこれまで培った「業と武士道精神」を広め・伝承する義務が有ると思っております

その為には武道家が心を一つにし、切磋琢磨する場所が必要では無いでしょうか
又、多くの方知って頂く事も大切です

己を鍛えるだけで無く、他を知り、互いに認め合う心が大切だと思っております
「和の心」を持ってずして武道の道は歩めないと思っております。

九州の中心を成し、世界にも発信できる福岡県なのですが、何故か、福岡県の武道連盟が無い為、各流派・連盟の大会は有っても、あらゆる流儀・流派等の垣根を越えた武道演武大会は有っておりません。武道の盛んな熊本県や岡山県等には、県の武道連盟が有り、それぞれの地で盛大な演武大会が催されており、昭和四十六年より武道の道に入った者として、永年福岡県の大会が開催できていない事を、非常に残念に思っております。以前は、明治百年祭（昭和四十二年）や昭和五十年祭が催され、大勢の武道家が集まって演武大会が有っております。私も昭和五十年祭には参加させて頂き、今でも懐かしく思っております。

私のような若輩者が、皆様にお声をお掛けするのは、大変おこがましく恐縮なのですが、時世が移り変わろうとしている、この平成の世の最後に天皇・皇后陛下に感謝の意を込めた「福岡県武道大会」を開催するというのは、いかがでしょうか。

武道を志す皆様と心をつなげて、武士道精神を次の世代へと引き継ぐ為に、まずは演武大会をして一歩ずつ前進をしたいと思っております。皆様に、是非ご賛同頂きたく失礼を承知で、お送りさせて頂いております。何卒宜しくお願い申し上げます。

先人達が伝承してきた「業」を、末永く伝承して行く為にも皆様のご理解とご協力を、伏してお願い申し上げます。

敬具

平成三十年一月吉日

西国柳生新影流兵法 錬心館

館長 西田 浩三

福岡県 武道家各位殿